顧客を守る！	▶顧客の生活を支える	災害時に顧客へ必需品や必要なサービスを提供する

040 避難所や隔離施設として活用できる「インスタントシェルター」

取組主体		
株式会社 LIFULL		
従業員数	想定災害	実施地域
1,471 人	全般	東京都/山梨県

- テント生地を膨らませ、内側から硬質化する発泡ウレタンを吹き付けることで設置できるインスタントシェルターを開発・販売。個人のスペースを確保でき、自然換気も行うため、コロナ禍における避難所での利用も期待される。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

避難所でのプライバシー確保、感染症対策にも有効

- 住宅・不動産ポータルサイトの企画・運営を行う株式会社 LIFULL は、被災地において、プライバシー確保と断熱性の高い空間を提供する、インスタントシェルターを開発・販売している。
- 同製品は、テント生地を膨らませたのちに、内側から硬直化する発泡ウレタンを吹き付け、乾かすことで設置が完了するため、５時間程度で建てることができるのが特徴である。
- 東日本大震災の被災地で、仮設住宅建設に２～３か月かかってしまうという現実を目の当たりにし、１日でも早く暖かい家を提供したいという名古屋工業大学大学院工学研究科教授の想いから、名古屋工業大学と同社の産学連携により、生まれた製品である。

設置された
インスタントシェルターの外観

- 個人のスペースを確保でき、プライバシーを守って生活できるほか、２か所の換気口から空気を循環させる自然換気を行うことができるため、新型コロナウイルス感染症の対策が求められる中での避難所での利用も期待される。
- 断熱性能に優れ、冬は暖かく夏は涼しいことや、基礎が必要ないためどこにでも設置が可能であることが大きな特徴である。

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 平時では、キャンプ場やグランピング施設において、一人キャンプ用のテントとして利用されている。コテージ等よりも自然の中で寝泊まりしている感覚になるが、テントよりも頑丈なので安心感も得ることができる。
- イベント会場での飲食提供ブース、カフェスペース等としても利用されている。
- 上記の取組は、予備防災の観点もあり、有事の際は、すでに建てられた同製品をトラックに載せて、学校や病院等の避難所や施設に移動することができる。

3 現状の課題・今後の展開等

- 今後は、避難所整備を行う自治体における同製品の認知度向上に向けて、取組を進めていく考えである。

担当者の声

- 本製品のように、従来の概念では捉えられない新しいものは、世の中に浸透するのに時間を要することも多いですが、面白がって一緒に未来を描いてくれる仲間に出会うことが成功の秘訣だと思います。本事例集に掲載される企業や団体は、当社と同じような考えのところも多いと思います。ともに、日本の明るい未来を一緒に描いていきましょう！

問合せ先	サイト URL
株式会社 LIFULL　法人番号：1010401091628 TEL：03-6774-1654　FAX：03-6774-1728　E-Mail：instantpro-info@lifull.com	